



児童数 491名

「かしこく、心やさしく、たくましく」

佐倉小学校ホームページ <http://www.school.city.sakura.chiba.jp/sakura-es/>

令和7年6月30日発行

「自然」と対峙する

校長 小川 英昭

6月末になって少し雨が降りましたが、「空梅雨」と言ってもよいくらいに雨が降りません。天気予報はできても、天気をコントロールすることはできません。6月からこのような天候では7月も心配です。学校では毎日、1時間ごとの「暑さ指数」を確認しながら熱中症予防に気をつけているところです。

子供たちは、この時期週1回のペースで水泳学習に取り組んでいます。迎えるバスに乗るときの子供たちの表情は、校外学習に出かけるかのような晴れやかな表情です。でも、決して浮かれているわけではありません。4台のマイクロバスに分乗するのですが、ある学年がバスに乗る際、スイミングクラブの担当の方から、「佐倉小のお子さんは、バスに乗ってから席に座るまでの動きが実にスムーズです」とお褒めの言葉をいただきました。バスの席は決まっていないので、乗った順に後ろの席から詰めて座っていきます。その動きがとても速いのです。学習であることを自覚した素晴らしい態度であり、その様子を評価していただき、うれしい気持ちになりました。

「水泳学習」は命を守るための学習であると本校体育主任は子供たちに話しています。海や川で遊ぶ機会に備えてという側面もあります。潮や川の流れは見た目だけではわからないエネルギーをもっています。自然のもつパワーは強大であることを意識して、夏休み中の水遊びやキャンプ等でも十分気を付けてもらいたいです。

話は大きく変わりますが、自然の驚異に関連して、5月末にスイス南部のアルプスにある氷河が崩落する事故があったと新聞で読みました。事前に危険を察知して、多くの方が避難をしていたようですが、一人行方不明という被害もあったそうです。これも温暖化が一因であることは誰もが思うことでしょう。氷河が溶けて水害に見舞われるという未然に防ぐことが難しい災害であり、自然がもつエネルギーの大きさに恐怖すら覚えます。一方で、東京都の1.6倍の広さの氷山が南極大陸を離れて移動と座礁を繰り返しているというニュースも聞いたことがあります。想像を絶しています。

暑さや寒さをエアコン等でしのいで暮らしやすくするのは、ある意味自然に逆らっているとも言えます。太陽光発電等は自然の力を利用しているとも言えます。自然がもつエネルギーを人間がうまくコントロールして生活を豊かにできると良いのですが、個人では限界があります。我々も、気象をはじめ自然を甘く見ず、まずは命を守ることを最優先して判断できる子を育てたいと思います。

7月の心の教育相談員・ スクールカウンセラーの来校日

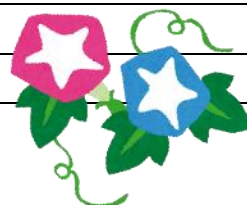
☆印…スクールカウンセラー

○印…心の教育相談員

月	火	水	木	金
1	2	3	4	5
8	9	10	11	12
15	16	17	18	19
22	23	24	25	26

【7月の行事予定】

3	木	校外学習 6 年 国会議事堂 東京方面
10	木	職員登校指導
14	月	4 時間日課（給食あり） 個人面談①
15	火	4 時間日課（給食あり） 個人面談②
16	水	4 時間日課（給食なし） 大掃除 給食終了 個人面談③
17	木	4 時間日課（給食なし） 個人面談④
18	金	全校集会
21	月	夏季休業（～8月31日）



お知らせ・お願い

☆道路の渡り方について

先日、全校集会で道路の渡り方について話をしました。

①道路を渡る時は「止まる・待つ・見る」心掛けよう。

②信号のある横断歩道では、青信号でも一度止まって左右を見て渡る。

（自動車用信号が赤でも、無理やり通ろうとする自動車がときどきいます。）

子供たちの視野は大人の70%（6歳の場合）ともいいます。登下校時は、ひまわり会の皆さんが子供たちの安全を見守ってくださっていますが、自分の命を自分で守るためにも、道路の歩き方や自転車の乗り方に気を付けるよう、ご家庭でも話をしていただけだと思います。



☆校内への自動車の乗入れについて

お子さんの送迎等で校内へ乗用車を乗入れている場面が見られます。登下校時は、多くの児童が校門周辺を通ります。特に、雨の日は傘をさしているため危険が増します。児童の安全確保のため、登下校時の時間帯には、乗用車で校内の立入をご遠慮いただきますよう、お願いいたします。

また、登下校時以外でも、校内への乗入れ時は、徐行をお願いいたします。

なお、事情があり、乗用車で送迎が必要な場合は、学校までご相談ください。

佐倉小の 子供たちの活躍

印旛地区小学校陸上競技大会

100m

5 年女子 第5位

救急法研修会 6/12(木)

6 月12日（木）、佐倉消防署の方を講師に、教職員全員で救急法の研修会を行いました。今年度は、佐倉幼稚園の先生方も一緒に実施しました。水泳指導が始まる前に、万が一の水の事故に備え、毎年行っているものです。心肺蘇生訓練用の人形を意識のない人と想定し、意識の確認や胸骨圧迫、AED の使用方法等を確認しました。6月17日（火）から水泳指導が始まりましたが、事故のないように行ってまいります。



図書ボランティア

現在、27名の方が図書ボランティアとして、低学年・高学年への月1回の読み聞かせや、図書室の環境整備のために活動してくださっています。読み聞かせは、朝の10分ほどの短い時間ですが、図書ボランティアの方の抑揚のある読み聞かせを、どの学年の子供たちも本の世界に入って、興味深そうに聴いていました。

また、図書室前の掲示板には図書ボランティアの皆さんが作成してくださった掲示物がはられ、季節を感じさせてくれています。



3年リコーダー講習会 6/12(木)

講師をお招きし、3年生全員でリコーダーの基本的な演奏の仕方を教えていただきました。子供たちは、講師の先生のお話や演奏を真剣に聴いていました。これから、音楽の授業でリコーダーを学習していくことが楽しみです。

不審者対応避難訓練 6/13(金)

学校に不審者（職員の指示に従わない、大声を出して威嚇する、刃物を持っている等）が侵入したことを想定した避難訓練を行いました。子供たちの安全を守るため、放送で全校に不審者侵入を知らせ、各教室では、机と椅子を入り口周辺に積んで、簡単なバリケードを作ります。不審者が確保され安全が確認されたら、子供たちは体育館またはグラウンドに集合することになります。どの学年も素早くバリケードを作り廊下からできるだけ見えないように身を隠しました。廊下から見ると、教室の2カ所の入り口からは、積んである机や椅子が見え、子供の姿はほとんど見えませんでした。不審者の行動を制限するため、職員がさすまたで対応する想定もしています。



☆学校では不審者対策として、次のようなことを行っています。

- ①児童の在校時は、正門を閉める。
- ②職員が来校者へ声を掛ける。
- ③保護者や出入り業者へ名札の着用をお願いします。
- ④警備会社が朝夕に校地内を巡回する。
- ⑤職員（管理職）が、校内を巡視する。（適時）

☆保護者の皆様には、次の点につきましてご協力をお願いします。

- ①来校時は、名札を着用し、事務室で受付をして校内に入る。校内では、職員に限らず、大人に進んで声を掛ける。
- ②児童の在校時間帯に、校内に出入りする場合は、正門を必ず閉める。（開いていた場合も、お手数ですが閉めていただければ幸いです。）

1・2年生活科探検 6/20(金)

1年生と2年生がペアになって城址公園に行き、生活科の学習をしました。1年生は芝滑りや草花遊び等をして楽しみました。2年生は網とかごを持っていき、虫取りをしました。ダンゴムシやバッタなど、友達と一緒に活動する楽しさを感じられたようです。城址公園までの行き帰りは2年生が1年生と手をつなぎ、安全に気を付けながら歩くことができました。2年生は、お兄さん・お姉さんの顔になって、1年生をリードしていました。

家庭教育学級 6/24(火)

第1回家庭教育学級が行われました。今回は、有機米をテーマにし、「春和のぞみ様」を講師に迎え、実施しました。有機米を試食したり、お米の栄養について学んだりしました。また、普段食している白米のおいしい炊き方について教えていただきました。環境問題や食の課題などの内容にも触れ、まさに「実りの多い時間」となりました。家庭教育学級の2回目は秋頃を予定しています。皆様、是非ご参加ください。



「まごころ風景」

休みの日に校門付近を掃除する子どもたちを見かけました。気になって、話を聞くと、「クラスで掃除の話になったときに、うちのクラスも掃除を頑張ろうという話になったので、自主的に3人が集まろうという話になった」のだそうです。いつも4年生、6年生が校門前の木の実が落ちて汚れてしまうので毎朝自主的に掃除してくれています。自分で考えて行動するのは、簡単なようでいて、大人でも難しい時が多々あります。「子供たちのまごころ」育っています。

もうすぐ、子供たちが楽しみにしている夏休みです。全員が笑顔で元気に夏休みを過ごせるようにしていきたいです。

